

報告事項3. 2020年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1) 研究会・学術講演会の開催事業

1. 第84回日本循環器学会学術集会(JCS2020)

- ① 会期：2020年7月27日(月)～8月2日(日)
2020年3月13日(金)～15日(日)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期となった

会長：木村 剛(京都大学循環器内科)

会場：WEB開催

メインテーマ：Change Practice !!

② プログラム

- ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
- ・美甘レクチャー
- ・真下記念講演
- ・特別講演
- ・Opening session
- ・会長講演
- ・代表理事講演
- ・プレナリーセッション
- ・シンポジウム
- ・会長特別企画
Change practice
Debate
Topics
この症例をどうする？
重大合併症はこの時起こる
Discuss with Experts
Special Lecture in Basic Science
人生100年時代の健康長寿 “Feel Better and Live Longer !!”
最新治療を学ぶ
JCS 2020 Guideline Deep Dive
- ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, APSC, WHF)
- ・ラウンドテーブルディスカッション
- ・トピック
- ・コントロバシー
- ・ミート・ザ・エキスパート
- ・モーニングレクチャー
- ・Late Breaking Clinical Trials
- ・Late Breaking Cohort Studies
- ・循環器教育セッション
- ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
- ・2018年度採択医師臨床研究助成およびメ
ディカルスタッフ研究助成報告会
- ・審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演

YIA Basic research部門審査講演

国際留学生YIA審査講演

コメディカル賞審査講演会

- ・ガイドラインに学ぶ
 - ・各委員会セッション・セミナー
 - ・海外留学ネットワークセミナー
 - ・留学支援助成報告会
 - ・脳卒中と循環器病克服5カ年計画
シンポジウム
 - ・倫理に関する講演会
 - ・医療安全に関する講演会
 - ・Circulation Journal Award Session
 - ・チーム医療セッション
(一般演題, 教育講演, シンポジウム)
 - ・サテライトセミナー(モーニングセミナー, ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)
 - ・Closing Session
- ③ プレレジストレーション
学術集会参加者向けに、参加登録、教育セッションのプレレジストレーションを行う。
- ④ 印刷物・製作物
第84回学術集会関連の印刷物・制作物として、電子抄録アプリ、教育セッションテキスト、ピンバッジ、英文パンフレットを製作する。
- ⑤ My Abstracts
演題抄録・チーム医療セッション抄録・共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。
- ⑥ 学会賞
以下の賞に関して、受賞者を決定する。
第45回日本心臓財団佐藤賞
第37回YIA Clinical research部門審査講演
第37回YIA Basic research部門審査講演
第28回CPIS賞
第18回国際留学生Young Investigators Award
Circulation Journal Awards for Volume 83, 2019
Circulation Journal Asian Award for Volume 83, 2019
Best Reviewers Award for 2019
第15回心臓血管外科賞
第15回小児循環器賞
第14回循環器再生医科学賞
第13回女性研究者奨励賞
第10回コメディカル賞

第9回循環器臨床研究奨励賞
第7回循環器イメージング賞
日本心臓財団・日本循環器学会2019年「心臓」賞

2. Asian Pacific Society of Cardiology 2020 (APSC2020)

APSC2020は中止となり、第84回学術集會会期中に、APSC-JCS Seminarを開催する。

3. 第85回日本循環器学会学術集会 (JCS2021)

① 会期：2021年3月26日(金)～3月28日(日)
会長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科)

会場：パシフィコ横浜
メインテーマ：Next Stage

- ② プログラム
- ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
 - ・美甘レクチャー
 - ・真下記念講演
 - ・特別講演
 - ・会長講演
 - ・代表理事講演
 - ・プレナリーセッション
 - ・シンポジウム
 - ・会長特別企画
 - ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, APSC)
 - ・ラウンドテーブルディスカッション
 - ・トピック
 - ・コントロバーシー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials
 - ・Late Breaking Cohort Studies
 - ・循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・2019年度採択医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ研究助成報告会
 - ・循環器病におけるゲノム解析プロジェクト研究助成報告会
 - ・審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演
YIA Basic research部門審査講演
国際留学生YIA審査講演
コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドラインに学ぶ
 - ・各委員会セッション・セミナー
海外留学ネットワークングセミナー

留学支援助成報告会
禁煙推進セミナー
日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
脳卒中と循環器病克服5カ年計画
シンポジウム

- ・倫理に関する講演会
- ・医療安全に関する講演会
- ・Circulation Journal Award Session
- ・チーム医療セッション
(一般演題, 教育講演, シンポジウム)
- ・サテライトセミナー(モーニングセミナー, ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)
- ・機器・書籍展示

③ プレレジストレーション
学術集會参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行う。

④ 印刷物・製作物
第85回学術集會関連の印刷物・制作物として、プログラム集、電子抄録アプリ、教育セッションテキスト、企業展示ガイドブック、ピンバッジ、英文パンフレットを製作する。

⑤ My Abstracts
演題抄録・チーム医療セッション抄録・共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。

⑥ トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は、アジア近隣諸国は5万円、その他の国は10万円とする。

⑦ 発表データプレエントリー
学術集會発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。

⑧ 託児室
学術集會会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。

⑨ 日本循環器学会ブースの出展
第85回学術集會の期間中、展示会場にて学会活動紹介のためのブースを出展する。

⑩ 学会賞
以下の賞に関して、受賞者を決定する。
第46回日本心臓財団佐藤賞
第38回YIA Clinical research部門審査講演
第38回YIA Basic research部門審査講演

第29回CPIS賞
 第19回国際留学生Young Investigators Award
 Circulation Journal Awards for Volume 84, 2020
 Circulation Journal Asian Award for Volume 84, 2020
 Best Reviewers Award for 2020
 第16回心臓血管外科賞
 第16回小児循環器賞
 第15回循環器再生医科学賞
 第14回女性研究者奨励賞
 第11回コメディカル賞
 第10回循環器臨床研究奨励賞
 日本心臓財団・日本循環器学会2020年「心臓」賞

4. World Congress of Cardiology 2021 (WCC2021)

第85回日本循環器学会学術集会と合同開催

- ① 会期：2021年3月26日(金)～28日(日)
 会長：福田 恵一(慶應義塾大学医学部 循環器内科)
 会場：パシフィコ横浜
- ② プログラム
 - ・一般演題(口述, ポスター)
 - ・Case Competitions
 - ・JCS-WHF Joint Session
 - ・WHF/National and continental societies/WHF members
 - ・WHF topics on global health issues
 - ・Meet and Share
- ③ トラベルグラント
 アジアからの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。

5. 第4回基礎研究フォーラム(JCS Council Forum on BCVR)

- ① 会期：2020年9月26日(土)～27日(日)
 会長：室原 豊明(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科)
 会場：名古屋コンベンションホール
 メインテーマ：Science-based Medicine
 ～今、基礎医学が面白い～
- ② プログラム
 Keynote Lecture, Sponsored Symposium, Award Session, Poster Award Session, 基礎研究助成セッション, ESC FCVB(Frontiers in Cardiovascular Biology) とのジョイントシンポジウム
- ③ 製作物
 抄録集

6. 日本循環器学会地方会

- ① 第123回北海道地方会
 会期：2020年9月5日(土)
 会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
 会長：川原田 修義(札幌医科大学 心臓血管外科科学講座)
- ② 第124回北海道地方会
 会期：2020年11月21日(土)
 会場：札幌医科大学教育研究棟 I (札幌市)
 会長：三浦 哲嗣(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
- ③ 第170回東北地方会
 会期：2020年8月23日(日)
 会場：Web開催
 会長：森野 禎浩(岩手医科大学 循環器内科分野)
- ④ 第171回東北地方会
 検討中
- ⑤ 第256回関東甲信越地方会
 会期：2020年7月24日(金・祝)
 会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
 会長：小野 稔(東京大学 心臓外科)
- ⑥ 第257回関東甲信越地方会
 会期：2020年9月5日(土)
 会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
 会長：南野 徹(新潟大学 循環器学分野)
- ⑦ 第258回関東甲信越地方会
 会期：2020年12月12日(土)
 会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
 会長：廣井 透雄(国立国際医療研究センター病院 循環器内科)
- ⑧ 第259回関東甲信越地方会
 会期：2021年2月13日(土)
 会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
 会長：田村 功一(横浜国立大学 循環器・腎臓・高血圧内科学)
- ⑨ 第140回北陸地方会
 会期：会期検討中
 会場：金沢大学医薬保健学域医学類
 会長：松原 隆夫(石川県立中央病院 循環器内科)
- ⑩ 第156回東海・第141回北陸合同地方会
 検討中
- ⑪ 第155回東海地方会
 会期：2020年6月27日(土)
 会場：Web開催
 会長：渡邊 英一(藤田医科大学 循環器内科学)
- ⑫ 第129回近畿地方会
 会期：2020年9月5日(土)
 会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)
 会長：瀧原 圭子(大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター)
- ⑬ 第130回近畿地方会
 会期：2020年11月28日(土)
 会場：京都テレサ(京都市)

- 会長：中川 義久(滋賀医科大学 循環器内科学講座)
- ⑭ 第116回中国・四国合同地方会
会期：開催中止
会長：荻野 和秀(鳥取赤十字病院)
- ⑮ 第117回中国地方会
会期：2020年12月5日(土)
会場：くにびきメッセ(松江市)
会長：小田 強(鳥根県立中央病院 循環器科)
- ⑯ 第117回四国地方会
検討中
- ⑰ 第128回九州地方会
会期：開催中止
会長：高橋 尚彦(大分大学 循環器内科・臨床検査診断学講座)
- ⑱ 第129回九州地方会
会期：2020年12月5日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：筒井 裕之(九州大学 循環器内科学)

7. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」
に、過去の地方会データを登録する。

(2)学会学術誌「Circulation Journal」「Circulation Reports」の刊行事業

- ① 「Circulation Journal」刊行事業(2020年度
刊行：Vol84-5～Vol85-4)
完全オンラインでの刊行事業を行う。また、
英語版ガイドライン掲載を行う。
- ② 「Circulation Reports」刊行事業(2020年度
刊行：Vol2-4～Vol3-3)
完全オンラインでの刊行事業を行う。
Circulation Reports独自の論文種別(Brief
Report, Statement/Opinion Articles,
Protocol Paper)をはじめとした、新規投
稿およびCirculation JournalからReject
with Transfer等から論文投稿を受け入れ、
オンラインジャーナルの特性を生かし、採
択から公開迄スピーディーに対応する。
- ③ 質の向上のための事業
Circulation Journalは、Impact Factorの向
上を目指す為、弊会作成ガイドライン英訳
掲載を積極的にすすめてゆく。またSister
JournalのCirculation Reportsだけではなく
国内他学会誌とも連携検討をおこない、相
互引用を図り、連携強化を行う。加えて、
アジア諸国で行った臨床研究や作成したガ
イドラインの掲載を行ってゆく。
Circulation Reportsは、質の高い論文投稿
を受け入れる為に、投稿から迅速に論文公
開を行う為の査読環境を維持し、PubMed
公開対応準備を継続して進める。
両誌共通事項として、国内外から広く投稿
を呼掛け、論文を周知できる方法を構築す

る為に、初の試みとして、外部アドバイザー
導入検討する。

④ 二次使用許諾許可に関する事業

Circulation Journal Circulation Reports
に掲載されている図表等について、利用頂
く為の情報収集に努める。

(3)学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

- ① ガイドライン誌発刊
・2019-2020年度年度活動ガイドライン
(2021年3月発表)
- 1) 循環器疾患における緩和ケアにつ
いての提言(班長：安斉 俊久)
 - 2) 循環器超音波検査の適応と判読ガイ
ドライン(班長：大手 信之)
 - 3) 循環器診療における放射線被ばく
に関するガイドライン(班長：上妻 謙)
 - 4) 重症心不全に対する植込み型補助人
工心臓治療ガイドライン
(班長：山口 修/小野 稔)
 - 5) 先天性心疾患、心臓大血管の構造的
疾患(Structural heart disease)に対
するカテーテル治療のガイドライン
(班長：坂本 喜三郎/河村 朗夫)
 - 6) 心血管疾患におけるリハビリテーシ
ョンに関するガイドライン(班長：
牧田 茂)
- ・2020-2021年度年度活動ガイドライン
(2022年3月発表)
- 1) 不整脈の診断と心臓突然死の予知に
関するガイドライン(班長：高瀬
凡平)
 - 2) 非心臓手術における合併心疾患の評
価と管理に関するガイドライン
(班長：平岡 栄治)
 - 3) 先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵
襲的治療に関するガイドライン
(班長：大内 秀雄/河田 政明)
 - 4) 末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドラ
イン(班長：東 信良)
- ② 英訳版
- 1) 循環器疾患における緩和ケアにつ
いての提言(班長：安斉 俊久)
 - 2) 循環器超音波検査の適応と判読ガイ
ドライン(班長：大手 信之)
 - 3) 循環器診療における放射線被ばく
に関するガイドライン(班長：上妻 謙)
 - 4) 重症心不全に対する植込み型補助人
工心臓治療ガイドライン
(班長：山口 修/小野 稔)
 - 5) 先天性心疾患、心臓大血管の構造的
疾患(Structural heart disease)に対

- するカテーテル治療のガイドライン
(班長：坂本 喜三郎/河村 朗夫)
- 6) 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン
(班長：牧田 茂)
- 7) 急性・慢性心不全診療ガイドライン
(フォーカスアップデート版)
(班長：筒井 裕之)
- 8) 不整脈非薬物治療ガイドライン
(フォーカスアップデート版)
(班長：栗田 隆志/野上 昭彦)
- ③ ガイドラインフォーカスアップデート発刊
- 1) 急性・慢性心不全診療ガイドライン
(フォーカスアップデート版)
(班長：筒井 裕之)
- 2) 不整脈非薬物治療ガイドライン(フォーカスアップデート版)
(班長：栗田 隆志/野上 昭彦)
- ④ ガイドブック発刊
- 1) 「日本循環器学会 不整脈診療ガイドブック：この不整脈症例をどうする？」
- ⑤ 図表の転載申請の許諾
営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

2. 基礎研究、医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ(医師の除く医療専門職)研究助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手基礎研究者5名に「基礎研究助成」、若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈する。

3. 留学支援助成

海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、循環器領域の進歩に寄与する研究の奨励と、今後活躍が期待される若手研究者の育成を目的に1件の留学支援助成を行う。

4. 循環器疾患の個別化医療実現のための 疾患発症予測・予防プログラムに関する研究助成

虚血性心疾患、心不全、心房細動の疾患発症の予測・予防に係るゲノム研究における2採択に対して1年目の研究助成を行う。

(4)登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

各施設における拡張の検討を継続する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

- ① データ収集を行う。
- ② DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業
JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも検討する。
- ③ 公募事業
JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い、データ提供の対価を研究者より受領する。
- ④ 事業モデルの確立
JROAD全体の事業体制整備の為、国立循環器病研究センター内Open Innovation Center (OIC)を利用し業務の円滑化および参加病院・企業研究委託を進める。JROAD, JROAD-DPC事業継続のため、企業に対しても有償でデータ提供を行うことを前提に企業との共同研究(コンソーシアム設立)や報告書を取りまとめることについて、企業に向けて説明会の開催を検討する。

3. BPA施設認定レジストリ登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医、指導医の基準策定が関連学会との合意を受け、レジストリ登録を行う。

4. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

5. MitraClipレジストリ(J-Mitra)

MitraClip適正指針に沿って施設認定を行い、MitraClip適正使用のためのレジストリ登録行う。

6. Watchmanレジストリ(J-LAAO)

Watchman適正指針に沿って施設認定を行い、Watchman適正使用のためのレジストリ登録を行う。

7. ビンダケル使用症例レジストリ

トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に対するビンダケル適性投与のための施設要件、医師要件に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医の審査を行い、レジストリ登録を行う。

(5)交流事業

1. 国内交流

- ① 「日本循環器連合」設立に向けて、各学会とリーダーシップミーティングを開催し議論を行う。

2. 国際交流

- ① 海外学会(AHA, ESC)へブース出展を行う。
- ② 各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, APSC, WHF)とのジョイントシンポジウムを開催し、協議の機会を設け、関係を深める。
- ③ 国際留学生YIAの公募を行い、第85回学術集会で審査講演を行う。
- ④ 海外留学ネットワーキングセミナーを企画し、留学を希望する若手医師の交流の場を設ける。
- ⑤ アジアからの学術集会参加者が増えるよう、各団体への広報を強化する。
- ⑥ APSC-JCS Seminar, WCC2021を実施する。

(6)循環器学用語の検討

- ① 『循環器学用語集(第3版)』改訂作業完了、第4版の公開
昨年度より継続して取り組んできた用語集の全面改訂作業を完了させ、第4版を公開する。
- ② 国際疾病分類(ICD)の改訂
WHO、厚生労働省からの依頼を受け、ICD-11の検討会等に委員を随時派遣する。
- ③ 循環器学用語集(Web版)の新機能検討
現行の用語集システムを改修し、データベースへの新語追加に有用な新機能を開発追加する。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1)循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ① 第31回循環器専門医資格認定審査書類審査を実施する。
- ② 循環器専門医資格の更新審査を行う(対象2,768名予定)。
- ③ 新しい規定に則った地方会運営を行う。
- ④ 『循環器専門医』誌の発刊ならびに今後の発刊についての検討を行う。
- ⑤ 循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ① 症例登録システム(循環器J-OSLER)の構

築・運営を行う。

- ② 新専門医制度に対応した施設指定審査および指定施設の公表を行う。
- ③ 関連する領域と連動した循環器領域における制度の構築・運営を行う。

(2)循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ① 第6回臨床研究デザインと統計解析合宿
若手から中堅の医師を対象に、臨床疫学及び臨床統計学のスキルアップを目的とした講義やハンズオン、グループワークを組み合わせて実践的な知識が身に付く内容の研修合宿を開催する。
- ② JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース
次の各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
 - ・AHAハートセイバーCPR AEDコースまた、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。
 - ・AHAコアインストラクターコース
 - ・AHA BLSインストラクターコース
 - ・AHA ACLSインストラクターコース
 - ・AHAハートセイバーインストラクターコース
 - ・AHA ACLS EP インストラクターコース
- ③ PCASセミナー
「心拍再開後ケアの標準化とチーム医療」をテーマに、医師、看護師等コメディカルを対象としたチーム医療について学ぶセミナーを開催する。
- ④ コメディカルセミナー
メディカルプロフェッショナルを対象とした教育セミナーを開催する。
横浜、大阪の全2講演で夏季に開催する。

2. 教材

- ① 教育研修e-ラーニングの整備・運営
会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツを充実させる。タイトル数は200に到達しており、今後はメンテナンスを中心に注力する。
- ② 学術集会DVD, 教育セッションDVDの製作・販売
第84回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。

3. 心不全療養指導士資格制度

2021年度から開始する心不全療養指導士資格制度に向け、第一回認定試験を2020年12月20日に実施する。また、その学習用コンテンツとしてeラーニングによる講義をWeb配信にて開始する。

4. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 多様な世代、職種等が交流し、互いの理解、進歩を考える場を設け、発展していくための活動を行う。
- ② Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕著する。
- ③ 循環器女性医師コンソーシアム(JCS-JJC)
女性循環器医の全国規模での交流を深め、循環器診療と研究の発展に寄与する。
- ④ U-40ワーキンググループ
学生や若手医師に対する循環器の広報を行う。また、日本のU-40グループ同士の交流会を実施し、各領域間の連携を取りやすくするようにする。
- ⑤ Diversity&Inclusion促進部門ワーキンググループ
診療看護師活躍推進のための周知活動を行う。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1)心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ② 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③ 自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④ 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤ 医療従事者に対してのドナーアクションを行う。
- ⑥ 心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。
- ⑦ 心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議(実施施設の認定審査を含む)を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2)広報・啓発事業

1. プレス向け

- ① プレスセミナーの開催

循環器疾患に関する正しい知識や治療について、プレスを通じて広く社会に発信するためにプレスセミナーを開催する。

2. 市民向け

- ① 心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象としてAEDを使用した心肺蘇生法の講習会を開催する。
- ② 心不全啓発の推進
キャラクター「ハットリシンゾウくん」を用いた心不全啓発キャンペーンを行う。
- ③ 禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のtwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。
- ④ 禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。
- ⑤ Twitterの活用
広くSNSを通じて情報を拡散するために、Twitterを活用した広報を行う。
CR, CJからの論文紹介や地方会、学術集会の中の演題内容やインタビュー投稿などを即時行うことで、常に新鮮な情報を一般、医療従事者、会員問わず発信する。

3. 会員向け

- ① 学会Webサイトの運営
学会公式Webサイトにおいて、継続して学会からの情報発信を行う。また、リニューアル後の精査を実施する。
- ② ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS News Letter」として配信する。

4. 官公庁等への働きかけ

- ① 診療報酬に関する調査
循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力し診療報酬改定後の影響について調査を行い、要望等を行う。
- ② 循環器救急の実情に関するアンケート調査
診療報酬改定に伴う救急医療への影響を調査する。
- ③ CCU加算に対する働きかけ
心血管疾患特定集中管理料を算定出来るように新設を求めて活動を行う。

(3)医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

(4)鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

(5)終末期症例登録について

救急医学会、集中治療医学会、循環器学会3学会合同で、終末期症例登録システムを構築する。

は割引価格で保険に加入でき、本会には医師賠償責任保険料の5%、総合補償保険の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会を活性化させるため、フェロー会員の認定を行う。

6. 会員への周知

会員に向けて周知すべき事項を案内するため、会告の2020 No.2～No.4・2021 No.1を発刊する。冊子での配布は有償とし、併せてホームページ及びメールにて会員に公開する。

●循環器領域に関係する他団体業務の委託

1. 「禁煙推進学術ネットワーク」事務局業務の受託

参画学会の中心メンバーとして他学会との連携強化、5カ年計画の禁煙予防分野としての推進を図る。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標に、脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め、目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」を5戦略とし、それぞれの戦略ごとに計画をたて、実行している。また、5カ年計画策定より5年が経過するため、ふり返しをするとともに日本脳卒中学会と関連学会とで第2次5カ年計画の策定を行う。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

過去に発生した災害をモデルとして、災害発生時に本会や関係団体が取べき対応をシミュレーションし、検討する。

3. 新会員システムの構築

会員の学会活動の利便性向上を目的とした会員向ポータルサイトの改善、学会運営・会員サポート・保守性の維持向上を目的とした事務局・会員管理システムの改修・追加を行う。演題登録システム構築の検討を行う。

4. 勤務医師賠償責任保険

本会の勤務医師賠償責任保険を運用する。会員